

## 令和元年(2019)度 大阪文化祭賞

(2020年3月4日)

### K★バレエスタジオなど8公演に贈呈

大阪府内で上演されたさまざまな公演の中から、独創的で企画・内容・技法が特に優れた人や団体を顕彰する大阪文化祭賞(大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会主催)。56回目を迎えた今年度(2019年1月1日～12月31日)は、数々の作品を遺して2019年3月に他界した舞踊家・矢上恵子氏の追悼コンサートを行った「K★バレエスタジオ」をはじめ、仮名手本忠臣蔵の通し上演を成功させた『仮名手本忠臣蔵 九段目 山科閑居の場』出演者一同、創立40周年(2020年)を控えて初期の代表作『唇に聴いてみる』を再演した南河内万歳一座の3公演が大阪文化祭賞に、その他5公演が奨励賞に選ばれました。審査は、実際に公演を観た著名な芸術家や文化人、ジャーナリストが務めました。

K★バレエスタジオ代表の矢上久留美さんは、「妹の恵子が他界した悲しみの中、万感の思いで作りに上げたメモリアルコンサート。スタジオ生やスタッフだけでなく、恵子を愛して頂いた全ての皆様によって無事に幕を降ろすことができました。いまだ悲しみが癒えずにいる私たちにとって、この受賞は何にも勝る激励となりました」と喜びを語りました。



矢上久留美さん

関西・大阪21世紀協会は、大阪文化祭賞を芸術・文化分野の人材発掘や育成、交流事業の一環として重視し、そのアピールに努めています。また、受賞者の励みとなるよう、副賞賞金(大阪文化祭賞20万円、奨励賞5万円)を提供しています。



K★バレエスタジオ「33回メモリアルコンサート」公演風景 ©岡村昌夫(テス大阪)

各部門の受賞者 ( )内部は受賞公演

#### 第1部門 ▶伝統芸能・邦舞・邦楽◀

仮名手本忠臣蔵 九段目 山科閑居の場 出演者ご一同

(11月文楽公演) / 大阪文化祭賞

山村若<sup>わか</sup>・山村侃<sup>かん</sup>

(新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会「竹生島」) / 奨励賞

尺八古典本曲断片ご一同

(尺八古典本曲断片 其の玖 三谷<sup>みや</sup>・菅垣<sup>すがき</sup> 弐) / 奨励賞

#### 第2部門 ▶現代演劇・大衆芸能◀

南河内万歳一座

(～21世紀様行～唇に聴いてみる) / 大阪文化祭賞

五代目 旭堂小南陵

(連続講談千鳥亭における「姉姫のお百」) / 奨励賞

#### 第3部門 ▶洋舞・洋楽◀

K★バレエスタジオ

(33回メモリアルコンサート) / 大阪文化祭賞

古瀬まきを

(古瀬まきををソプラノリサイタル～La voix humaine～) / 奨励賞

アンサンブル九条山

(アンサンブル九条山コンサート vol.7「セレクションズ」) / 奨励賞

(敬称略)

\*今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、恒例の贈呈式は非開催となりました。

## 令和元年(2019)度 関西元気文化圏賞

(2020年1月27日・リーガロイヤルホテル大阪)

### 大賞「百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議」

阪神タイガース・近本光司選手にニューパワー賞

文化・芸術・スポーツなどの分野で活躍し、関西から日本を元気に明るくした人や団体へ、感謝と一層の活躍を期待して贈られる「関西元気文化圏賞(関西元気文化圏推進協議会/関西・大阪21世紀協会も構成員)」。その贈呈式が文化庁芸術祭賞贈呈式と合同で行われ、「百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議」に大賞が贈られました。

同会議は、大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市の知事と市長をトップとして2011年5月に設立。百舌鳥・古市古墳



受賞者と主催者

群の世界文化遺産登録をを目指す8年における結果、2019年7月に登録が決定しました。大阪府内

では初めての世界文化遺産登録で、これを契機に日本の歴史文化を伝える古墳群の価値を内外に示し、関西の知名度が一層高まると期待されています。

また、将来性が期待できる人や団体に贈られるニューパワー賞は、阪神タイガースの近本光司選手ほか2名に贈られました。近本選手は、入団した2019年シーズンにおいて、セ・リーグ新人最多の159安打をマーク。さらに36盗塁を記録し、新人として2001年の赤星憲広選手以来、史上2人目の盗塁王を獲得しました。その打撃力と俊足で今後の活躍も大いに期待されています。各賞の受賞者は次の通り。



近本光司選手(祝賀会にて)

**大賞**:百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議、**特別賞**:平田オリザ(劇作家)、**ニューパワー賞**:近本光司(プロ野球選手)、仲邑菫(棋士)、紀平梨花(フィギュアスケート選手)(敬称略)